

News Release

平成 30 年 11 月 22 日
N I T E (ナ イ ト)
独立行政法人製品評価技術基盤機構
四 国 支 所

暖房器具の事故の防止について(注意喚起) ～四国地方における事故を中心に～

本資料は、NITE(ナイト)が経済産業記者会、経済産業省ペンクラブ及び消費者庁記者クラブに対して行う、暖房器具の事故の防止についての注意喚起にあわせて、四国地方 4 県での事故事例を補足的に紹介するものです。

1. 四国地方での事故

(1) 年度別事故発生件数と被害状況

2013 年度から 2017 年度までの 5 年間で NITE(ナイト)に通知のあった製品事故情報^{※1}のうち、四国地方 4 県(徳島県、香川県、愛媛県、高知県)で発生した暖房器具による事故は 45 件ありました。

暖房器具による事故の被害状況では、45 件の事故のうち、35 件が火災を伴っており、また 7 件の死亡事故が発生しております。種々の事故件数等詳細については、年度別事故発生件数を表 1、被害状況別事故発生件数を表 2、原因区分別事故発生件数を表 3 に示します。

なお、物的被害(製品破損)があった場合でも人的被害(重傷、軽傷)のあったものは、人的被害の区分で集計しております。

※1 消費生活用製品安全法に基づき報告された重大製品事故に加え、事故情報収集制度により収集された非重大製品事故(ヒヤリハット情報(被害なし)を含む)。

表 1. 年度別事故発生件数

		徳島県	香川県	愛媛県	高知県	合計
発生 年 度	2013 年度	3	6	9	4	22
	(内数)火災事故	(1)	(5)	(6)	(3)	(15)
	2014 年度	0	3	2	3	8
	(内数)火災事故	(0)	(3)	(1)	(3)	(7)
	2015 年度	1	2	3	0	6
	(内数)火災事故	(1)	(2)	(1)	(0)	(4)
	2016 年度	1	3	1	0	5
	(内数)火災事故	(1)	(3)	(1)	(0)	(5)
	2017 年度	0	1	2	1	4
(内数)火災事故	(0)	(1)	(2)	(1)	(4)	
合計		5	15	17	8	45
(内数)火災事故		(3)	(14)	(11)	(7)	(35)

表 2. 被害状況別事故発生件数

		徳島県	香川県	愛媛県	高知県	合計
被害状況	死亡	0	3	3	1	7
	重傷	0	0	3	1	4
	軽傷	0	3	3	1	7
	拡大被害	2	7	7	5	21
	製品破損	3	2	0	0	5
	被害なし	0	0	1	0	1
合計		5	15	17	8	45

表3. 原因区分別事故発生件数

		徳島県	香川県	愛媛県	高知県	合計
製品に起因する事故	A:設計、製造又は表示等に問題があったもの	3	1	2	1	7
	B:製品および使い方に問題があったもの	0	0	0	0	0
	C:経年劣化によるもの	0	0	1	0	1
	G3:製品起因であるが、その原因が不明のもの	0	1	1	0	2
	小計	3	2	4	1	10
製品に起因しない事故	D:施工、修理又は輸送などに問題があったもの	0	0	0	0	0
	E:誤使用や不注意によるもの	1	6	1	1	9
	F:その他製品に起因しないもの	0	2	4	3	9
	小計	1	8	5	4	18
	G:原因不明なもの(G3を除く)	0	4	5	2	11
H:調査中のもの		0	1	3	1	5
合計		5	15	17	8	45

(2) 四国地方において発生した事故の事例

① 2014年2月、徳島県、30歳代・女性、拡大被害(火災)、使用期間:15年

製品名:電気ストーブ

【事故の内容】

電気ストーブを使用中、ブレーカーが作動したため確認すると、当該製品及び周辺を焼損する火災が発生していた。

【事故の原因】

電気ストーブの天板に接触していた繊維物が熱せられて出火し、火災に至ったものと推定される。

なお、取扱説明書には、「カーテンなど燃えやすいものの近くで使用しない」旨、本体には、「就寝中や燃えやすいものの近くでは使用しない。爆発や火災の恐れあり、スプレー缶や可燃物などを近くに置かない」旨、記載されている。

- ② 2017年2月、香川県、60歳代・女性、拡大被害(火災)、使用期間:2年

製品名:石油ストーブ

【事故の内容】

石油ストーブ付近から出火し、住宅を全焼した。

【事故の原因】

石油ストーブを移動する際に不安定な一輪車に乗せたため、固定タンクから置台上に灯油がこぼれ、点火に使用したマッチの燃えかすを、置台上の灯油が染み込んだ堆積物近くに置いたため、着火したものと推定される。

なお、取扱説明書には「マッチの燃えかすをしん付近や置台の上に置かない。樹脂部分が焼損したり、火災になるおそれがある」旨、記載されている。

- ③ 2013年11月、愛媛県、50歳代・男性、拡大被害、使用期間:不明

製品名:電気こたつ(中間スイッチ付コード)

【事故の内容】

電気こたつの中間スイッチを入れたところ、火花が散り、敷物が焦げた。

【事故の原因】

長期使用(製造後約20年)により、電源コードの絶縁被覆が劣化して亀裂が生じたため、中間スイッチの電源プラグ側コードプロテクター付近で芯線が断線し、短絡・スパークが生じたものと推定される。

- ④ 2014年12月、高知県、年齢不明・男性、拡大被害(火災)、使用期間:14年

製品名:石油ストーブ

【事故の内容】

石油ストーブを使用中、当該製品及び周辺を焼損する火災が発生した。

【事故の原因】

当該製品にガソリンを誤って給油したため、使用中に異常燃焼して火災に至ったものと推定される。

なお、取扱説明書には、「ガソリンなどの揮発性の高い油は絶対に使用しない」旨、記載されている。

2. 事故の再現実験映像について

映像(動画・写真)をご希望の場合は、下記の問い合わせ先までご連絡ください。

なお、映像をご使用の際、クレジットは「製品評価技術基盤機構+nite ロゴ」として下さい。

(本件に関する問い合わせ先)

〒760-0023 香川県高松市寿町1-3-2 高松第一生命ビル5F

独立行政法人 製品評価技術基盤機構

四国支所 支所長 佐藤 芳彦(さとう よしひこ)

担当者:中田(なかた)

電話:087-851-3961